

## 【別紙】

各委員のご意見等（順不同）

（一部の質問については、事務局による回答を記載しております。）

### 1. 金剛バスの廃止に伴うレインボーバスの運行計画（案）について

- 関係者各位へはなるべく丁寧な説明と対応をお願いします。
- 現行のレインボーバスのサービスが低下することになるので、地元地区の住民をはじめ利用者には、丁寧な説明を行うようお願いする。
- 土・日・休日は便数減でいいと思う。
- 運賃は金剛バス料金で良いのでは。
- 路線の中に福社会館がある。福社会館の事業によっては、開館時間中ずっとイベントがある時があり、10時台発にすると、今まで利用していた利用者がそのイベントに間に合わなくなる。帰りも交通手段がなくなる。
- 今回の金剛バス廃止に伴い、南海バスも富田林市内を走るのので、金剛駅と富田林駅を結ぶ総合乗入路線を考えてはどうか。  
(事務局)  
協議会で審議の上、決定します。
- 金剛バス廃業に伴う東條線の路線維持については、元々、こんごう福祉センター周辺に路線認可を受けている南海バス様が、広域協議会からの要請のもと、新たに認可手続きを経て、運行を担うと認識している。一方で、東条小学校や富田林支援学校への通学の受け皿として、南海バスの便数で需要が賅えない便数を補完するという趣旨については同意する。
- 補完運行の内容について、南海バス様が運行をしない甘南備方面まで延伸するという案については、たとえ貴市の受委託事業といえども、近鉄バスとして認可を受ける以上、事業者間の摩擦を生む要因となる恐れがあり、懸念している。
- 運行に関しては、以下の条件で検討するようお願いしたい。  
○広域協議会で合意がなされていること  
東條線の補完運行+レインボーバスの運行が、

- 現状のレインボーバスの運転手の人数（1人）および拘束時間（13時間）を超えない範囲であること（改善基準告示への対応のため）
- 現状のレインボーバスの台数（1台）を超えない範囲であること
- 現状のレインボーバス車両（ラッピングしている小型車両）を使うこと  
⇒小型車両検査時には運休となる

- 輸送力に余裕がないため、時間帯別の乗降人数把握を行い、柔軟にダイヤや車両の大きさを調整できるようにしておいたほうがよいかと考える。
- バス会社、近畿運輸局、警察等との調整を密に行い、法的な問題をクリアすることは実務担当者としては非常に負担かと思うので、関係各所には柔軟かつ前向きな対応を望む。できない理由探しはなるべくNGで。
- 今回、最も重要なのは住民の意識改革である。定期的にご利用される「バスがないと移動手段がない」「生活に必需」な方の意見を重視し、「寂しい」「あったほうがいい」などの呑気な主張をされる方の意見は後回しでよいと思う。そのような段階はとうに過ぎていることを、正しく伝えないといけない時期に来ている。運転者の人材不足は深刻であり、運行するのにも税金がかかる。安く便利に、といった利用者の希望に満額回答できる状況にはない中で、言い方は悪いが「最もマシ」な成果を出すよう関係各者が苦勞していることを、地域の皆様に理解していただかないといけない。
- タイムリミットまで時間がないが、レインボーバスの利用者や東條地区の方への丁寧な説明をお願いしたい。
- レインボーバスの停留所では少なからず朝8時台に到着を待っている市民を見かけ、その方々の移動手段がどうなるのかが気になる。また、今回の案では、庁舎分散もあることから、すばるホールと本庁との移動手段、職員の通勤手段に影響が出るのではないかと懸念している。
- 暫定的な措置とのことなので、見通しを示すなど、市民の皆さんにご理解いただけるような周知が必要になると思う。

以上